

特別国民体育大会東北ブロック大会 兼第49回東北総合体育大会参加・宿泊申込手引 【アイスホッケー競技用】

1 次 第

- (1) 特別国民体育大会東北ブロック大会兼第49回東北総合
体育大会の参加に係る留意事項並びに参加申込手続きについて . . . P 1
- (2) 開催市町村・競技日程・競技会場一覧 . . . P 2
- (3) 実施要項総則 . . . P 3～7
- (4) 個人情報及び肖像権取扱要領 . . . P 8・9
- (5) 宿泊要項及びに宿泊弁当のお申し込みについて . . . P 10～13
- (6) 監督への公認スポーツ指導者資格義務付けに伴う第77回国民体育大会
・特別国民体育大会冬季大会における取扱いについて . . . P 14
- (7) 参加申込選手異字体報告及び記入例 . . . P 15・16
- (8) 参加選手・監督【交代（変更）届・棄権届】及び
参加選手交代（変更）・棄権手続きにあたっての留意事項 . . . P 17・18
- (9) 監督・選手の派遣に関する調査表（第49回東北総合体育大会用）
及び記入上の留意点 . . . P 19・20
- (10) 東北総体大会展望 . . . P 21
- (11) 第49回東北総合体育大会参加料・傷害補償制度負担金納入一覧表及び
東北総体傷害見舞金給付基準・国体傷害補償制度のあらまし . . . P 22～25
- (12) ふるさと選手制度について、様式1，様式2 . . . P 26～28
- (13) 第77回国民体育大会（栃木県）における参加資格確認書（参考資料）
【成年種別選手用・少年種別選手用・監督用】 . . . P 29～34



令和4年度国民体育大会東北ブロック大会兼第49回東北総合体育大会

の参加に係る留意事項並びに参加参加手続きについて

1 大会参加に係る留意事項

- (1) 東北総体参加申込は、日本スポーツ協会国民体育大会参加申込システムを利用します。参加申込にあたっては、当協会HP様式一覧内の「国民体育大会参加申込システム」に操作方法等載せておりますので、参考として申込願います。
- (2) 選手・監督の選出にあつては、国民体育大会実施要項総則並びに中央競技団体の参加資格等に照らし合わせ、違反することのないよう留意願います。
「ふるさと選手制度」を活用して参加する選手については、「登録」が必要です。
- (3) 宿泊については開催県実行委員会の配宿計画に一任願います。特に、各競技団体において独自に宿舍を指定することのないよう注意願います。
- (4) 選手の健康管理については、健康診断を実施するなど十分に留意願います。

2 参加申込みの手続き

(1) 申込手続き日

各競技団体の申込手続き日は、別に通知いたします。指定された日程で都合がつかない場合は、必着での郵送・電子メールで送付いただくか、事前に事務局に連絡ください。

(2) 申込提出先

公益財団法人宮城県スポーツ協会スポーツ推進部競技スポーツ推進課 宛て

〒981-0122 宮城県宮城郡利府町菅谷字館40-1

メール：kyo-spo@mspf.jp

(3) 提出書類等

項 目	提出部数	確認
① 第49回総合体育大会大会参加申込書（申込システムから印刷）	各種別1部	☐
② 競技団体が独自に求められている添付資料（※1 関係競技団体）	必要部数	☐
③ 監督・選手の派遣に関する調査表（※2 データをメールでも提出）	1部	☐
④ 東北総体大会展望（※2 データをメールでも提出）	1部	☐
⑤ 参加料・傷害補償制度負担金納入一覧表	1部	☐
⑥ ふるさと選手登録関係資料（申請あれば様式1・2及びシステム印刷）	各1部	☐
⑦ 特別国民体育大会（鹿児島県）における参加資格確認書	全参加者分	☐

※1【添付資料が必要な競技団体一覧】※第49回大会（8月開催）を参考として

・ボート ・陸上競技 ・レスリング ・ウェイトリフティング ・自転車 ・ソフトテニス
・卓球 ・相撲 ・馬術 ・フェンシング ・柔道 ・バドミントン ・ライフル射撃
・スポーツクライミング ・空手道 ・銃剣道 ・クレ射撃 ・なぎなた

大会ホームページの「各種様式・申込添付資料」から添付資料（Excel形式）をダウンロードし、必要事項を入力の上、システムへ添付して申し込み願います。また、入力した添付資料は、参加申込時に印刷したものと入力データを本局にもご提出願います。

《大会ホームページ開設時期》

・第49回東北総体ホームページ開設

HP専用QRコード →



※2 文書やファイルにパスワードをかけ保護し、本協会へ転送下さい。

（パスワードを別メールで必ず本協会に教えてください。）

(4) 「参加料」及び「負担金」の納入（別紙納入一覧表参照）

① 東北総体参加料

⇒ 東北総体に参加する監督及び選手、1人につき1,000円×参加申込人数

② 国体参加者傷害補償制度加入負担金

⇒ 東北総体に参加する監督及び選手、1人につき500円×参加申込人数

（加入負担金は1人1,000円ですが、県から500円の補助が出ます。）

別紙納入一覧表を提出し、参加人数等が確定しましたら当協会から振込用紙を送付しますので、①及び②を一括してお振込み下さい。 ※現金での徴収は致しませんので御留意願います。

令和4年度国民体育大会東北ブロック大会兼第49回東北総合体育大会
会場地・競技会場・日程一覧

主会期：令和4年8月19日(金)～21日(日)

NO.	競技・種目・種別		開催 市町村	競 技 日 程					国体 地区 予選	参加 見込 人数	競 技 会 場	備 考
				17日 水	18日 木	19日 金	20日 土	21日 日				
1	水泳	水球 アーティスティックスイミング	青森市 岩手県盛岡市				7/30◎ 7/ 9◎	7/31○ 7/10○	☆	144 18	青森県総合運動公園／屋外プール 盛岡市立総合プール	
2	ボート		岩手県花巻市			7/15◎	7/16○	7/17○	☆	252	田瀬湖ボート場	
3	カヌー	スローム/ワイルド・ウォーター スプリント	西目屋村 岩手県盛岡市			6/24△ 7/16◎	6/25○ 7/16◎		☆	42 108	目屋溪谷岩木川カヌー競技場 岩手県立御所湖広域公園漕艇場	
4	ボウリング		八戸市			7/ 8△	7/ 9○	7/10○	☆	96	ゆりの木ボウル	
5	ゴルフ		階上町	6/15△	6/16○				☆	24	八戸カントリークラブ	
6	陸上競技		青森市				◎	○		612	カクヒログループアスレチックスタジアム	
7	サッカー	成年男子 少年男子 少年女子	五戸町 八戸市 十和田市		8/11△ 8/11△ 8/11△	8/12○ 8/12○ 8/12○	8/13○ 8/13○ 8/13○	8/14○ 8/14○ 8/14○	☆	294	五戸町ひばり野公園陸上競技場 南郷陸上競技場 高森山総合運動公園球技場	
8	テニス		青森市				7/30◎	7/31○	☆	36	新青森県総合運動公園／テニスコート	
9	ホッケー	成年男子/少年男子 成年女子/少年女子	三沢市 六ヶ所村		8/25△ 8/26○	8/26○ 8/27○	8/27○ 8/28○	8/28○	☆	456	青森県立三沢高等学校グラウンド 六ヶ所村内子内農山村広場	
10	ボクシング		青森市			◎	○	○	☆	90	カクヒログループスタジアム	
11	バレーボール		青森市			△	○	○	☆	312	新青森県総合運動公園／マエダアリーナ	
12	体操	体操競技 新体操 トランポリン	弘前市		7/7△	7/8○ 7/8△ 7/8◎	7/9○ 7/9○ 7/10○		☆	144 36 18	弘前市民体育館 青森県武道館	
13	バスケットボール		青森市			8/26△	8/27○	8/28○	☆	306	新青森県総合運動公園／マエダアリーナ	
14	レスリング		八戸市				8/27◎	8/28○		126	八戸市体育館	
15	ウエイトリフティング		平川市				◎	○	☆	120	ひらかわドリームアリーナ	
16	ハンド ボール	成年男子/少年男子 少年女子 成年女子	野辺地町 東北町		△	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	☆	312	野辺地町立体育館 青森県立野辺地高等学校 東北町総合トレーニングセンター	
17	自転車競技	トラック ロード	八戸市 階上町			△	○	○		138	八戸自転車競技場 階上岳登山口周辺周回コース	
18	ソフトテニス		青森市				◎	○	☆	144	新青森県総合運動公園／テニスコート	
19	卓球		三沢市			8/26◎	8/27○	8/28○	☆	120	三沢市国際交流スポーツセンター	
20	軟式野球		青森市			△	○	○	☆	96	青森県営球場／ダイシンベースボールスタジアム	
21	相撲		十和田市				8/27◎	8/28○		60	十和田市相撲場	
22	馬術		宮城県仙台市				7/ 9◎	7/10○	☆	126	仙台市海岸公園馬術場	
23	フェンシング		むつ市			△	○	○	☆	84	むつマエダアリーナ	
24	柔道		平川市				8/27◎	8/28○	☆	108	ひらかわドリームアリーナ	
25	ソフト ボール	成年男子 成年女子 少年女子 少年男子	八戸市			△	○ ○ ○	○ ○ ○	☆	330	東運動公園野球場 長根野球場 新井田公園多目的広場 新井田公園多目的広場	
26	バドミントン		黒石市		8/25△	8/26○			☆	96	スポカルイン黒石	
27	弓道		弘前市				7/23◎	7/24○	☆	96	青森県武道館／弓道場	
28	ライフル射撃		秋田県由利本荘市			△	○	○	☆	84	秋田県立総合射撃場	
29	剣道（成年男子を除く）		三沢市				◎		☆	120	三沢市武道館	無観客で実施
30	ラグビー フットボール	成年男子 少年男子 女子	青森市	△	○		○ ○ ○	○ ○ ○	☆	276	大進建設スポーツ広場	
31	スポーツ クライミング	ボルダリング リード	青森市			7/15△	7/16○ 7/17○		☆	72	盛運輸アリーナ	
32	アーチェリー		青森市				◎	○	☆	84	新青森県総合運動公園／アーチェリー場	
33	空手道		弘前市				8/27◎	8/28○	☆	96	青森県武道館	
34	銃剣道		三沢市					◎	☆	42	三沢市武道館	
35	クレール射撃		弘前市				◎	○		30	弘前クレール射撃場	
36	なぎなた		藤崎町				◎	○	☆	42	スポーツプラザ藤崎	
37	アイス ホッケー	成年男子 少年男子	八戸市				12/10◎ 12/ 3◎	12/11○ 12/ 4○	☆	204	テクノルアイスパーク八戸	

凡例 △：競技別開始式 ◎：競技別開始式後に競技実施 ○：競技日 ☆：国体地区予選を兼ねて実施

令和4年度国民体育大会東北ブロック大会 兼第49回東北総合体育大会実施要項 総 則

《開催の趣旨》

東北地区のスポーツを振興し、地域住民の体力増進を図るとともに、各県の親善と交流を深め、もって健康で文化的な生活の確立に寄与する。

1 主催等

- (1) 主催 公益財団法人日本スポーツ協会 東 北 各 県 東北各県体育(スポーツ)協会
東北各県教育委員会 東北高等学校体育連盟 東北中学校体育連盟
東北地区競技団体
青森市 弘前市 八戸市 黒石市 十和田市
三沢市 むつ市 平川市 藤崎町 野辺地町
東北町 五戸町 階上町 西目屋村 六ヶ所村
由利本荘市(秋田県) 盛岡市・花巻市(岩手県) 仙台市(宮城県)
- (2) 主管 公益財団法人青森県スポーツ協会 青森県教育委員会 青森県高等学校体育連盟
青森県中学校体育連盟 会場地市町村 会場地市町村教育委員会
会場地市町村体育(スポーツ)協会 開催県競技団体 会場地市町村競技団体
- (3) 後援 ス ポ ー ツ 庁

2 実施競技種目

下表の国民体育大会正式競技(37競技)を実施

No	競技・種目名		No	競技・種目名		No	競技・種目名		No	競技・種目名	
1	水 泳	水球	11	バレーボール(6人制)		20	軟式野球		32	アーチェリー	
		アーティスティックスイミング	12	体 操	体操競技	21	相 撲		33	空手道	
2	ボート				新体操	22	馬 術		34	銃剣道	
3	カヌー	スラローム・ワイルドウォーター			トランポリン	23	フェンシング		35	クレ射撃	
		スプリント	13	バスケットボール		24	柔 道		36	なぎなた	
4	ボウリング		14	レスリング		25	ソフトボール		37	アイスホッケー	
5	ゴルフ		15	ウエイトリフティング		26	バドミントン				
6	陸上競技		16	ハンドボール		27	弓 道				
7	サッカー		17	自転車	ロード	28	ライフル射撃				
8	テニス				トラック	29	剣 道				
9	ホッケー		18	ソフトテニス		30	ラグビーフットボール				
10	ボクシング		19	卓 球		31	スポーツクライミング				

3 会期・会場地

(1) 主会期 令和4年8月19日(金)から21日(日)までの3日間

(2) 主会期外 次の競技種目の開催期日は下表のとおりである。

No.	競 技 種 目		開 催 期 日
1	水泳	水球	7月30日(土)～7月31日(日)
		アーティスティックスイミング	7月9日(土)～7月10日(日)
2	ボート		7月15日(金)～7月17日(日)
3	カヌー	スラローム・ワイルドウォーター	6月24日(金)～6月25日(土)
		スプリント	7月16日(土)
4	ボウリング		7月8日(金)～7月10日(日)
5	ゴルフ		6月15日(水)～6月16日(木)
7	サッカー		8月11日(木)～8月14日(日)
8	テニス		7月30日(土)～7月31日(日)
9	ホッケー		8月25日(木)～8月28日(日)
12	体操	体操競技	7月7日(木)～7月9日(土)
		新体操	7月8日(金)～7月10日(日)
		トランポリン	7月8日(金)
13	バスケットボール		8月26日(金)～8月28日(日)
14	レスリング		8月27日(土)～8月28日(日)
19	卓球		8月26日(金)～8月28日(日)
21	相撲		8月27日(土)～8月28日(日)
22	馬術		7月9日(土)～7月10日(日)
24	柔道		8月27日(土)～8月28日(日)
25	ソフトボール	少年男子	8月27日(土)～8月28日(日)
26	バドミントン		8月25日(木)～8月26日(金)
27	弓道		7月23日(土)～7月24日(日)
31	スポーツクライミング		7月15日(金)～7月17日(日)
33	空手道		8月27日(土)～8月28日(日)
37	アイスホッケー	成年	12月10日(土)～12月11日(日)
		少年	12月3日(土)～12月4日(日)

(3) 会場地 青森市 弘前市 八戸市 黒石市 十和田市
三沢市 むつ市 平川市 藤崎町 野辺地町
東北町 五戸町 階上町 西目屋村 六ヶ所村
由利本荘市(秋田県) 盛岡市・花巻市(岩手県) 仙台市(宮城県)

4 競技方法

競技別実施要項による。

5 参加資格

第77回国民体育大会実施要項総則の5に示された参加資格とする。

6 表彰

- (1) 各競技の競技別総合順位決定方法は、競技別実施要項による。
- (2) 各競技の男女総合成績第1位に大会会長トロフィーを授与する。
- (3) 各競技の男女総合成績第1位から第3位までにそれぞれ表彰状を授与する。
- (4) 各競技の種別及び種目の第1位から第3位までに賞状を授与する。
- (5) 表彰式については、会場地実行委員会が会場地の状況に応じて開催可否を判断する。

7 参加申込方法

- (1) 各県の体育（スポーツ）協会会長及び競技団体会長は、連署の上、各県において選抜された者並びにチームを、大会会長宛に申し込むものとする。
- (2) 参加申込は、定められた申込締切日までに「国民体育大会参加申込システム（別に定める添付書類を含む。以下同じ）」により行うものとする。

(3) 参加申込締切日

① 主会期に開催する競技 令和4年7月21日（木）午後5時までとする。

② 主会期以外に開催する競技は、下記の期日の午後5時までとする。

No.	競技種目		開催期日	申込締切日
1	水 泳	水球	7月30日（土）～ 7月31日（日）	6月30日（木）
		アーティスティックスイミング [※]	7月 9日（土）～ 7月10日（日）	6月 9日（木）
2	ボート		7月15日（金）～ 7月17日（日）	6月30日（木）
3	カヌー	スラローム・ワイルドウォーター	6月24日（金）～ 6月25日（土）	5月26日（木）
		スプリント	7月16日（土）	6月 9日（木）
4	ボウリング		7月 8日（金）～ 7月10日（日）	6月 9日（木）
5	ゴルフ		6月15日（水）～ 6月16日（木）	5月19日（木）
7	サッカー		8月12日（金）～ 8月14日（日）	7月 7日（木）
8	テニス		7月30日（土）～ 7月31日（日）	6月30日（木）
9	ホッケー		8月25日（木）～ 8月28日（日）	7月21日（木）
12	体 操	体操競技	7月 7日（木）～ 7月 9日（土）	6月 9日（木）
		新体操	7月 8日（金）～ 7月10日（日）	6月 9日（木）
		トランポリン	7月 8日（金）	6月 9日（木）
13	バスケットボール		8月26日（金）～ 8月28日（日）	7月21日（木）
14	レスリング		8月27日（土）～ 8月28日（日）	7月21日（木）
19	卓球		8月26日（金）～ 8月28日（日）	7月21日（木）
21	相撲		8月27日（土）～ 8月28日（日）	7月21日（木）
22	馬術		7月 9日（土）～ 7月10日（日）	6月 9日（木）
24	柔道		8月27日（土）～ 8月28日（日）	7月21日（木）

(1) 宿泊料金

①監督・選手（1泊2食付）	S	11,000円（消費税・入湯税含む）
	A	8,800円（ 〃 ）
	B	7,700円（ 〃 ）
②本部役員（1泊2食付）		11,000円（ 〃 ）

(2) 昼食弁当代

本部役員・監督・選手共通 800円（消費税含む・飲料代含まない）

11 各県本部役員

本部役員を編成する場合は、団長・副団長・総監督・総務で15名以内とし、他に役員として、顧問5名を加えることができる。

12 参加上の注意

- （1）各県選手団は、競技に際し、必ず県名標識をつけなければならない。
- （2）参加選手の健康診断は、各県の責任において全選手に実施するものとする。
- （3）大会参加者に傷害事故が発生した場合は、別に定める給付基準により見舞金を給付する。

13 個人情報及び肖像権に関わる取り扱い

参加申込等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取り扱いに関しては、別に定める要領により対応するものとする。

令和４年度国民体育大会東北ブロック大会兼第４９回東北総合体育大会 個人情報及び肖像権取扱要領

この要領は、令和４年度国民体育大会東北ブロック大会兼第４９回東北総合体育大会実施要項総則第１３項の規定に基づき、青森県等の主催者や令和４年度国民体育大会東北ブロック大会兼第４９回東北総合体育大会青森県実行委員会（以下「県実行委員会」という。）や開催市町村等が組織する会場地実行委員会及び開催県競技団体（以下「東北総体関係機関・団体」という。）が、参加申込等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取り扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

１ 個人情報の取り扱い

（１）利用目的

大会参加申込として国民体育大会参加申込システムへ登録された個人情報は、東北総体関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

（２）公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

- ア 競技別プログラムへの掲載
- イ 競技会場内におけるアナウンス等による紹介
- ウ 競技会場内外の掲示板等への掲載
- エ 大会関連ホームページへの掲載

（３）競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記（２）で定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

- ア 県実行委員会が設置する記録本部を通じた公開
- イ 東北総体関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載
- ウ 東北総体関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載
- エ 次回以降の大会プログラムへの掲載

【新記録や総合成績、優勝者及び上位入賞結果（記録）等】

２ 肖像権に関する取り扱い

（１）写真

東北総体関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがある。

（２）写真（写真撮影企業等）

東北総体関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、主管する開催県競技団体を中心に対応する。

（３）映像

東北総体関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放送及びインターネットによって配信されることがある。また、DVD等に編集され、販売・配付されることがある。なお、各競技における販売の有無等の詳細は、主管する開催県競技団体を中心に対応する。

3 対応

(1) 承諾の確認

大会参加申込として国民体育大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技における取り扱いに伴い、別途、主管する開催県競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

(2) 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、東北総体関係機関・団体と大会に関する契約をしている者及び大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

第49回東北総合体育大会宿泊要項

1 総 則

- (1) この要項の適用対象は、令和4年度国民体育大会東北ブロック大会兼第49回東北総合体育大会に参加する選手、監督、役員、視察員及び報道関係者等（以下「大会参加者」という。）とする。
- (2) 第49回東北総合体育大会青森県実行委員会事務局（以下「県事務局」という。）は、この要項を競技団体及び開催市町村または会場地実行委員会に示すとともに、相互の連絡にあたる。
- (3) 県事務局は、宿泊手配等業務担当業者（以下「担当業者」という。）と連絡調整の上、大会参加者の宿舍の選定や割当等の業務にあたる。
- (4) 宿舍に関する紛議が生じた場合は、県事務局と担当業者が調整斡旋にあたる。

2 宿泊割当の基本方針

- (1) 選手、監督及び役員の宿泊は、原則として開催市町村内に定めるものとする。
- (2) 大会参加者の宿泊割当にあたっては、次の事項に留意するものとする。
 - ① 宿泊は、営業宿泊施設をもって充てるものとする。
 - ② 各県ごと同一宿舍に割当たるよう配慮するが、会場地によっては競技種目・種別毎に分けることもある。
 - ③ 一人当たりの宿泊に要する広さは、3.3 m²（2 畳）以上とする。
 - ④ 指定された宿舍の変更は、原則として認めない。また、宿泊料金の設定についても変更は認めない。

3 宿泊について

- (1) 宿泊料金及び適用期間は次のとおりとする。

① 宿泊料金

選 手・監 督	1泊2食付 S:11,000円 A:8,800円 B:7,700円 (消費税・入湯税含む)
上記以外の大会参加者	1泊2食付 11,000円 (消費税・入湯税含む)

② 適用期間

宿泊料金の適用期間は、大会期間の3日前から終了後2日までの期間とする。
ただし、災害等特別な理由が生じた場合は、別途考慮する。

- (2) 宿舍での食事の時間

宿舍での食事の時間は、原則として次のとおりとし、競技開始時間の都合等で時間外に食事を希望する場合は、宿舍と個別に折衝するものとする。

○朝食：午前6時30分から午前9時まで ○夕食：午後5時から午後8時まで

- (3) 宿舍における欠食控除及び追加食事料金については次のとおりとする。

- ① 欠食の取扱いは、前日の正午までに申し出た場合に限り下表の料金を控除する。
- ② 食事の追加の取扱いは、下表の料金で当該宿舍に申し込むものとする。

(欠食及び追加食事料金表)

区 分		朝 食	夕 食	備 考
選 手・監 督	S	700 円	1,520 円	金額はいずれも消費税を含む
	A	700 円	1,440 円	
	B	700 円	1,360 円	
上記以外の大会参加者		700 円	1,520 円	

③宿舍のサービスにより提供される食事については、欠食控除の対象としない。

(4) 休憩料金

早期到着及び遅発等で休憩として部屋を使用する場合は、宿舍との個別折衝による。

(5) 宿泊料金の支払方法等

①各競技開始前の指定された期日までに、申込時点の内容から算出された金額を、担当業者が発行する請求書により、指定する口座に振り込むものとする。

②各競技会終了後、実績に基づき担当業者が作成・発行する精算書により精算する。

(6) 入宿前に大会参加者が宿泊を取消す場合の取消料は、下表のとおりとする。

また、取消しにあたっては、各県宿泊申込責任者が直接当該宿舍及び担当業者へ速やかに連絡するものとする。

宿泊取消しの申出区分	宿泊予定日が 8 月 20 日の場合	宿泊取消し料金
宿泊予定日の 4 日前まで	～ 8 月 16 日	徴収しない
宿泊予定日の 3 日前まで 宿泊予定日の 2 日前まで	8 月 17 日 ～ 8 月 18 日	宿泊料金の 20%
宿泊予定日の前日まで	8 月 19 日	宿泊料金の 40%
宿泊予定当日	8 月 20 日	宿泊料金の 50%
旅行開始後または 無連絡不参加	8 月 20 日 ～	宿泊料金の 100%

※主会期外開催競技・種目についても同様の扱いとする。

※取消した泊数にかかわらず、1 人につき 1 泊分の取消し料金とする。

(7) 入宿後、選手・監督が競技の都合により宿泊を取消す場合の取消料は下表のとおりとする。また、取消しにあたっては、宿泊責任者が当該宿舍へ速やかに連絡するものとする。

宿泊取消しの申出区分	宿泊取消し料金
宿泊予定日当日の正午まで	徴収しない
宿泊予定日の正午以降	宿泊料金の 100%

※特別な事情で宿泊取消しの申し出が宿泊予定日当日の正午を過ぎることについて、あらかじめ当該宿舍の了解を得た場合はこの限りではない。

※取消した泊数にかかわらず、1 人につき 1 泊分の取消し料金とする。

(8) 宿泊申込については、担当業者の募集型企画旅行とする。

詳細については、担当業者の募集要項で確認するものとする。

4 昼食弁当について

(1) 昼食弁当代金及び適用期間は次のとおりとする。

①昼食弁当代金

大会参加者	昼食弁当 800円（消費税含む、飲料代を含まない）
-------	---------------------------

②適用期間

昼食弁当代金の適用期間は、大会期間の3日前から終了後2日までの期間とする。
ただし、災害等特別な理由が生じた場合は、別途考慮する。

(2) 昼食弁当代金の支払方法等

①各競技開始前の指定された期日までに、申込時点の内容から算出された金額を、担当業者が発行する請求書により、指定する口座に振り込むものとする。

②各競技会終了後、実績に基づき担当業者が作成・発行する精算書により精算する。

(3) 大会参加者が、申込後に昼食弁当を取消す場合の取消料は、下表のとおりとする。
また、取消しにあたっては、各県申込責任者が直接担当業者へ速やかに連絡するものとする。

昼食弁当取消しの申出区分	昼食弁当取消し料金
昼食弁当利用日前日の正午まで	徴収しない
昼食弁当利用日前日の正午以降	昼食弁当代金の100%

(4) 昼食弁当の追加

昼食弁当の追加は、弁当利用日前日の正午まで、担当業者へ申し込むものとする。

(5) 昼食弁当の配達

昼食弁当は、あらかじめ指定した時間までに各競技会場へ配達することを原則とする。
ただし、諸般の事情により配達できない場合、担当業者は各県の監督と十分協議の上、競技に支障のないように配慮する。

5 宿泊及び昼食弁当の申込みについて

(1) 宿泊及び昼食弁当の申込みは次のとおりとする。

①各県の体育(スポーツ)協会及び競技団体は、担当業者が別に示す申込システムを利用し、必要事項を入力の上、申し込むものとする。

②各県本部役員宿泊については、主会期のみ申込システムを利用することとし、主会期外は、直接担当業者へ申し込むものとする。

(2) 申込期限

①主会期開催競技 令和4年7月21日(木)【必着】

②主会期外開催競技

第49回東北総合体育大会実施要項総則第7項の(3)②で定める申込締切日と同日

6 その他

宿舍の門限や入浴時間は、各宿舍で定める時間に従うものとする。ただし、競技の都合等により当該時間を変更したいときは、宿舍と個別に折衝するものとする。

附 則

この要項は、令和4年4月23日から施行する。

特別国民体育大会東北ブロック大会兼第49回東北総合体育大会

宿泊・弁当のお申し込みについて

特別国民体育大会東北ブロック大会兼第49回東北総合体育大会開催に伴い、宿泊及び昼食弁当のお申し込みをインターネットにて受付いたします。

第49回東北総合体育大会ホームページ（<https://www.touhokusoutai.net/>）に掲載された「宿泊・弁当申込システム」ボタン（下記）をクリックし、画面に表示された該当の競技名のボタンをクリックしてください。

※稼働未定 アイスホッケーは11月2日～17日申込



「宿泊・弁当申込システム」ボタン

宿泊・弁当申込システムの画面が表示されましたら、別途お渡しした参加競技団体別のID・パスワード（8桁の数字）を半角で入力し、「ログインする」をクリックしお申し込みください。 ※届きましたらお知らせします。

ログインID	(例) 12345678
パスワード	(例) 12345678

※ID とパスワードは同じ数字です。

令和4年度国民体育大会東北ブロック大会 兼

令和4年度東北総合体育大会東北ブロック大会 兼
第49回東北総合体育大会（宿泊弁当お申込サイト）

開催地：階上町

宿泊・弁当お申込サイト

申込期限

2022年5月19日(木) 17時

宿泊・弁当申込登録の流れ

No.	操作方法
1	画面右の「ログインID」及び「パスワード」に実行委員会から配布されたコード番号・パスワードをそれぞれに入力し、ログインしてください。
2	個人情報取扱規約をご確認・同意していただきますと、申込者登録画面に入ります。氏名・メールアドレス・連絡先等を入力してください。
3	申込者登録が完了後、引き続き、「団体情報・交通手段入力」ボタンを押してください。
4	「団体情報・交通手段入力」画面で、団体・引率者・交通手段等の情報を入力してください。入力した内容を確認し、画面下の「確認」ボタンをクリックします。試合結果による取消料の免除を希望する場合は、あらかじめその旨を宿泊希望内容欄に記入し、当社にお伝えください。
5	「団体情報・交通手段入力」が完了しますと、マイページ画面左側に画面選択メニューが表示されます。
宿泊・弁当申込	
1. 「宿泊・弁当申込」ボタンを押します。	
2. 宿泊プログラムに里女別の人数を登録してください。	

ログイン

ログインID

パスワード

パスワード再設定

ログインする

メニュー

各競技申込ボタン

宿泊・弁当募集要項 (PDF)

申込マニュアル (PDF)

変更・取消依頼書 (PDF)

変更・取消依頼書 (Excel)

領収書発行依頼書 (PDF)

領収書発行依頼書 (EXCEL)

旅行条件書

**監督への公認スポーツ指導者資格義務付けに伴う
第77回国民体育大会・特別国民体育大会冬季大会における取扱いについて**

2022年4月14日

■公認スポーツ指導者資格を保有する者

公認スポーツ指導者資格を保有する者とは、「大会参加時(都道府県予選会に申込を完了した時点から本大会終了時まで)に公認スポーツ指導者資格の登録状況が『有効』(資格が認定されている状態)である者」をいう。

※2022年(令和4年)4月1日(冬季大会は2022年(令和4年)10月1日)時点で公認スポーツ指導者資格を有し、かつ有効期限が2023年(令和5年)3月31日以降であること。

※有効期限が2022年(令和4年)9月30日の者であっても、2022年(令和4年)10月1日付更新登録手続きを行える者は参加が可能。ただし、所定の期限までに更新登録手続きを行わなかった場合は参加不可。

■公認スポーツ指導者資格を保有する監督が参加できない場合の取扱い

- ・ 公認スポーツ指導者資格を保有する監督が参加できない場合、選手のみでは参加できない。
- ・ 選手が監督を兼任する競技・種目・種別においては、兼任する監督が公認スポーツ指導者資格を保有していない場合、当該チームは参加できない。

■参加可否一覧

【第77回本大会・ブロック大会】

資格状況 (大会参加時)	資格有効期限	参加可否
有効	2023年3月31日以降 (令和5年)	○
	2022年9月30日 (令和4年)	○※
		×
登録保留	—	×
資格停止	—	×
2022年(令和4年) 10月1日付認定予定者	—	×
※2022年(令和4年)10月1日付更新登録手続きを行える者は参加が可能。 (所定の期限までに更新登録手続きを行わなかった場合は、参加不可)。		

【特別冬季大会】

資格状況 (大会参加時)	資格有効期限	参加可否
資格者	有効	2023年3月31日以降 (令和5年)
	登録保留	—
	資格停止	—
2023年(令和5年) 4月1日付認定予定者	—	×

競技

団体名

記載責任者名

異字体報告者数
名

番号	種別	種目	No.	訂正前	姓力ナ 姓漢字	・	名力ナ 名漢字
				訂正後	↓ 姓漢字	・	↓ 名漢字
1				訂正前		・	
					↓		↓
				訂正後		・	
2				訂正前		・	
					↓		↓
				訂正後		・	
3				訂正前		・	
					↓		↓
				訂正後		・	

※ 本様式は、参加申込システムへの入力手続きと同時に開催地都道府県実行委員会宛FAX送信してください。

※ 記入に際しましては、大きな文字で楷書にて正確にご記入ください。（プログラム等印刷物、表彰状筆耕にはこの報告書に記入された文字を用います。）

※ 氏名に異字体を含む参加者については、参加申込システムで当該者を入力する際、「異字体」チェック欄にチェックを入れてください。

競技

団体名〇〇〇〇〇協会
記載責任者名〇△× 太郎

異字体報告者数
1 名

番号	種別	種目	No.	訂正前	姓カナ 姓漢字	・	名カナ 名漢字
				訂正後	↓ 姓漢字	・	↓ 名漢字
1				訂正前	ヨシノ	・	ダイスケ
					ヨシ野		大介
				訂正後	↓	・	↓
					吉野		同上
2				訂正前		・	
				訂正後	↓	・	↓
3				訂正前		・	
				訂正後	↓	・	↓

※ 本様式は、参加申込システムへの入力手続きと同時に開催地都道府県実行委員会宛FAX送信してください。
※ 記入に際しましては、大きな文字で楷書にて正確にご記入ください。（プログラム等印刷物、表彰状筆耕にはこの報告書に記入された文字を用います。）
※ 氏名に異字体を含む参加者については、参加申込システムで当該者を入力する際、「異字体」チェック欄にチェックを入れてください。

特別国民体育大会東北ブロック大会兼第49回東北総合体育大会

参加選手・監督【 交代（変更）届 ・ 棄権届 】

※いずれかを○印で囲む

1 参加申込者

競技名		種別		種目	
参加申込者名					

2 交代（変更）・ 棄権の理由

--

3 交代（変更）者 ※棄権の場合は記入不要

フリガナ			生年月日	年 月 日生 () 歳	
氏 名					
所属区分※1		所属の所在地※2			
プログラム掲載用所属					
第74回大会参加 都道府県名		第77回大会参加 都道府県名		例外適用 ※3	
中央競技団体 登録の有無	有 ・ 無	有の場合 番号等			
その他の必要事項 (身長、体重、記録等)					

※1 下記のいずれを選択して参加したかを記入。

成年種別 (ア. 居住地を示す現住所 イ. 勤務地 ウ. ふるさと)

少年種別 [ア. 居住地を示す現住所 イ. 学校教育法第1条に規定する学校の所在地 ウ. 勤務地
エ. 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地]

※2 所在地は市区町村名まで記入。ふるさとを選択した場合には「卒業学校名」を記入。

※3 今回と第77回大会（不出場の場合は第74回大会）の参加都道府県が異なる場合のみ記入。

- [1. 新卒業者 2. 結婚又は離婚 3. ふるさと（成年） 4. 一家転住（少年）
5. JOC エリートアカデミー（少年） 6. 東日本大震災に係る特例措置]

令和 年 月 日

ア 青森県実行委員会会長 様

所属県体育（スポーツ）協会へ連絡済 ☐

イ 競技（開催市町村）実行委員会会長 様
(主管競技団体会長)

(チェックを記入)

宮城県 体育(スポーツ)協会

会長 鈴木 省三

協会・連盟

会長

令和4年度国民体育大会東北ブロック大会兼第49回東北総合体育大会
参加選手・監督交代（変更）・棄権手続きにあたっての留意事項

1 交代（変更）手続き

特別な事情で選手を交代（変更）する場合には次の交代（変更）手続きを行うこと。

- （1）実施要項総則及び当該競技実施要項を参照し、交代する選手の参加資格を確認した上で、交代（変更）届に必要な事項を記入し、各競技が定める提出先宛提出すること。
- （2）添付書類（診断書等）については、各競技の定めにより提出すること。
- ~~（3）交代（変更）届には所属県体育（スポーツ）協会会長印、所属県競技団体会長印を捺印することとする。~~ ※前回大会よりスポーツ協会、競技団体会長印不要
- （4）その他、競技により別に定める事項がある場合はそれに従うこと。

2 棄権手続き

参加申込締切後から特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、次の棄権手続きを行うこと。

- （1）上記1を参照し、交代（変更）手続きと同様により棄権届を提出すること。
- （2）その他、競技により別に定める事項がある場合はそれに従うこと。

3 送付先

- （1）〒039-3505 青森県青森市宮田字高瀬 22-2
新青森県総合運動公園内
第49回東北総合体育大会青森県実行委員会 会長
- （2）競技（開催市町村）実行委員会会長 又は 主管競技団体会長
- （3）宮城県スポーツ協会 （原本の写しを送付またはFAX）
〒981-0122
宮城県宮城郡利府町菅谷字舘 40-1 グランディ・21
（公財）宮城県スポーツ協会スポーツ推進部競技スポーツ推進課

監督・選手の派遣に関する調査表(第49回東北総合体育大会用)

記入者名

連絡先TEL

連絡先所属名

No	競技名	種別	区分	監督・選手氏名	年齢	出身地	現住所	職業 (学年)	所属	派遣依頼文書宛名	発送用封筒(タックシール)			県立 ○or×
											宛名	郵便番号	所在地	
1														
2														
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
16														
17														
18														
19														
20														

1 要項に示された人員を、**種別毎**に空欄のないように記入し、競技名・種別及び区分についてはリストの中から選択ください。

2 年齢については、実施年度の4月1日現在の年齢を記入ください。※参加申込システムが令和2年から変更になったため。

3 現住所・学年・郵便番号・所在地の数字は、すべて半角で記入ください。

4 現住所は、マンション・アパート・下宿等にお住まいの場合は、マンション・アパート・下宿名及び部屋番号まで記入してください。

5 所属は、県立高等学校の場合は「宮城県」を除いた「〇〇高等学校」と記入ください。公立小中学校の場合は「〇〇市町村立△△中学校」などと記入ください。無職(主婦を含む)の場合は「宮城県〇〇協会・連盟」と記入ください。

6 職業は「会社員、公務員、教員、職員、自営」などと記入ください。学生の場合は「〇〇市町村立△△中学校」等は除いて記入ください。

7 派遣依頼文書宛名は、実際に文書に貼付するタックシールに印字されます。 ◆株式会社〇〇商事代表取締役社長、〇〇銀行総務部長、県立高等学校校長、〇〇大学 学長など。 **個人名までは必要ありません。**

8 発送用封筒宛名は、封筒に貼付するタックシールに印字されます。 ◆株式会社〇〇商事代表取締役社長、〇〇銀行総務部長、宮城県〇〇高等学校長、〇〇大学 学長など。 **個人名までは必要ありません。**

9 発送用封筒所在地は、封筒に貼付するタックシールに印字されます。 ◆勤務者は勤務地、自営者は自宅、在学者は学校所在地(大学は学部により異なる)が原則です。

10 「県立」は、県立学校の場合のみリストから「県立」を選択ください。

【記入上の留意点】

- 1 要項に示された人員を、**種別毎**に空欄のないように記入し、競技名・種別及び区分についてはリストの中から選択ください。
- 2 年齢については、実施年度の4月1日現在の年齢を記入ください。※参加申込システムが令和2年から変更になったため。
- 3 現住所・学年・郵便番号・所在地の数字は、すべて半角で記入ください。
- 4 現住所は、マンション・アパート・下宿等にお住まいの場合は、マンション・アパート・下宿名及び部屋番号まで記入してください。
- 5 職業は「会社員、公務員、教員、職員、自営」等と記入ください。学生の場合は「学年」を記入し、大学院生の場合は「大学院〇年生」等と記入ください。無職（主婦を含む）の場合は「宮城県〇〇協会・連盟」と記入ください。
- 6 所属は、県立高等学校の場合は「宮城県」を除いた「〇〇高等学校」と記入ください。公立小中学校の場合は「〇〇市町村立△△中学校」などと記入ください。私立学校の場合は「□□□法人」等は除いて記入ください。
- 7 派遣依頼文書宛名は、実際に文書の左上に印字されます。◆株式会社〇〇商事代表取締役社長、〇〇銀行総務部長、県立高等学校の場合は「宮城県」を除いた〇〇高等学校長、〇〇大学 学長など。**個人名までは必要ありません。**
- 8 発送用封筒宛名は、封筒に貼付するタックシールに印字されます。◆株式会社〇〇商事代表取締役社長、〇〇銀行総務部長、宮城県〇〇高等学校長、〇〇大学 学長など。**個人名までは必要ありません。**
- 9 発送用封筒所在地は、封筒に貼付するタックシールに印字されます。◆勤務者は勤務地、自営者は自宅、在学者は学校所在地（大学は学部により異なることがあるので要注意）が原則です。
- 10 「県立」は、県立学校の場合のみリストから「県立」を選択ください。
- 11 派遣依頼文書は、「監督・選手等」宛と「所属長」宛の文書を作成し、所属長宛に全員発送し

東北総体 大会展望

次の事項について，箇条書きで記入してください。
また，報道関係へのPR用として重要な資料となりますので，必ず提出願います。

No	回答欄	
1 競技団体名		
2 当該大会における具体的な目標		
3 有望チーム・選手・種目等	1. 2. 3.	
4 3における実績	1. 2. 3.	
5 その他アピールポイント		

記載責任者

連絡先

【別 紙】

第49回東北総合体育大会
参加料・傷害補償制度負担金納入一覧表

競技団体名

		東北ブロック大会 兼 東北総合体育大会			合計 納入額 (振込)※ ①+②
		参加料①		国体傷害補償②	
種 別	全参加者数	負担①	補償対象 選手・監督	負担②	
	人数	人数×@1,000	人数	人数×@500	
監督		円		円	円
成年男子		円		円	円
成年女子		円		円	円
少年男子		円		円	円
少年女子		円		円	円
男子		円		円	円
女子		円		円	円
		円		円	円
合 計	人	円	人	円	円

東北総合体育大会の参加料は、1人当たり@1,000円です。参加料は全参加者数必要です。

〔全参加者数とは・・・〕

実施要項記載枠参加者数および追加選手等を含めた合計人数

国体傷害補償は、下記のとおり、競技団体負担1人当たり@500円です。

1人当たり内訳：

競技団体負担金 + 県補助 = (公財)日本スポーツ協会傷害保険加入申込金
(@500円 + @500円) = @1,000円

国体傷害補償は、県が半額負担しています。

〔補償対象選手・監督とは・・・〕

国民体育大会本大会において実施される正式競技種目及び特別競技種目のブロック大会競技に参加する選手及び監督。

①及び②を一括して、宮城県スポーツ協会事務局での参加申込み時に、納入金額確認の上、振込用紙にて、御振込頂きます。 ※現金での徴収は致しませんので御留意願います。

東北総合体育大会傷害見舞金給付基準

(目 的)

第1条 この基準は、東北総合体育大会における参加者の負傷・疾病または死亡（以下「傷害」という）に際して、必要な見舞金の給付を行い、大会の円滑な運営に資するため定めるものとする。

(給付の種類)

第2条 前条の給付の種類は、医療見舞金・疾病見舞金及び死亡見舞金（以下「傷害見舞金」という）とする。

(給付の基準)

第3条 第2条に掲げる傷害見舞金は、その傷害が東北総合体育大会の管理下において発生し、医療費用額が3千円以上のものを対象とし、次の各号に掲げる区分に応じ支給するものとする。

(1) 傷害見舞金については、健康保険法による療養に要する費用の額につき本人負担にかかる額とし、最高額15万円の範囲で給付する。

(2) 死亡見舞金については、30万円とする。

2 東北総合体育大会の管理下とは、次に掲げる場合とする。

東北総合体育大会の開催期間（前日の練習日を含む）において、練習、競技中及び準備等にかかる場合をいう。

(給付の申請)

第4条 傷害見舞金給付にかかる申請は、別に定める様式により、医師の診断書を添えて、当該者の属する県体育協会会長が事故発生1か月以内に、開催県大会会長あて提出するものとする。

(審査及び事務処理)

第5条 傷害見舞金給付の審査及び事務処理は、開催県実行委員会事務局があたるものとする。

2 傷害見舞金給付の対象期間は、事故の日からその日を含めて原則60日以内とする。

(見舞金の給付)

第6条 第3条の基準による見舞金の給付は、当該傷害見舞金給付申請書の内容を審査し、その見舞金額を決定のうえ支給するものとする。

2 前項の基準により支給額を決定したときは、当該県体育（スポーツ）協会会長を通じて、当該者に支給するものとする。

3 前項の当該者とは、負傷者が成人の場合は本人または遺族、未成年の場合はその保護者またはこれに準ずる親権者とする。

(財 産)

第7条 見舞金給付にかかる財源は、開催県実行委員会が50万円を拠出しこれに当て、順次累積するものとする。ただし、累積金額の規模により開催県実行委員会は50万円を拠出しないこととすることができる。

(報 告)

第8条 傷害見舞金の給付実績及び決算報告は、「東北総合体育大会報告書」をもってこれにあてる。

(そ の 他)

第9条 本基準外の重要と認める事項については、東北六県体育関係者会議において決定する。

附 則

この基準は、昭和49年第1回総合体育大会から適用する。

昭和50年 9月13日一部改正

昭和53年 8月28日一部改正

平成 3年 6月 4日一部改正

平成 9年 5月19日一部改正

平成26年 5月15日一部改正

平成30年 5月10日一部改正（給付の申請及び審査及び事務処理の内容の変更、見舞金給付の対象期間を追記）

国民体育大会参加者傷害補償制度のあらまし

(1) 補償対象者および傷害補償金・共済見舞金

①補償対象者

●選手及び監督

国民体育大会において実施される正式競技種目のブロック大会、本大会及び特別競技の本大会における競技に参加する選手及び監督

●選手団本部役員

ブロック大会及び本大会において編成される都道府県選手団本部役員（顧問を含む）

●視察員

ブロック大会及び本大会において編成され、各都道府県の視察員名簿に記載される者

●その他選手団役員

ブロック大会及び本大会において編成され、選手団本部役員以外に各都道府県の選手団名簿に記載される者

※選手団名簿に記載されておらず、都道府県競技団体が独自で派遣する者は対象外。

②傷害補償金・共済見舞金

傷害 補償金	死亡・後遺障害補償金		3,000万円	
	入院補償金（1日につき）		3,600円	180日限度
	通院補償金（1日につき）		2,400円	90日限度
共済 見舞金	疾病・傷害による 死亡・後遺障害		200万円	
	熱中症 見舞金	熱中症による入院	3,600円	180日限度
		熱中症による通院	2,400円	90日限度

(2) 補償期間（国民体育大会活動）※国民体育大会傷害補償制度給付規定 第4条

①ブロック大会参加中

公益財団法人日本スポーツ協会（以下「当協会」という。）及び各都道府県体育・スポーツ協会（以下「都道府県体育協会」という。）が主催する「国民体育大会ブロック大会」に参加するために自宅を出発してから自宅に帰るまでの間。ただし、各ブロック大会開会式、公式練習または各競技開始日のいずれか早い日の2日前から大会終了日の翌日までの間に限る。

②本大会参加中

当協会が主催する「国民体育大会（本大会）」に参加するために自宅を出発してから自宅に帰るまでの間。ただし、開会式（開始式）または公式練習のいずれか早い日の2日前から大会終了日の翌日までの間に限る。

③その他

各都道府県体育協会または各都道府県競技団体が主催または共催する、結団式または解団式に参加するために自宅を出発してから自宅に帰るまでの間。

※1 「国民体育大会活動」には、「ブロック大会・本大会に向けての強化練習または強化合宿」は含まない。

※2 本制度からの傷害補償金・共済見舞金は、生命保険、労災保険、健康保険、その他の傷害保険からの保険金や加害者からの賠償金などとは関係なく重複して支払われる。

※3 棄権・交代の取扱い

- ・棄権…補償期間①～③いずれかの活動に参加している場合は、参加者数に含める。

- ・交代…交代前・交代後の各選手が、補償期間①～③いずれかの活動に参加した場合は、それぞれ参加者数に含める。

ふるさと選手制度について

1. **成年種別に出場する選手**は、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができます。
(1) 居住地を示す現住所 (2) 勤務地 (3) ふるさと
2. 「ふるさと」とは、**卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県**としています。また、JOCエリートアカデミーに係る選手については、出場資格の特例措置項により出場することができます。
3. 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、**予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければなりません**。また、一度登録した「ふるさと」は変更できません。
4. ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までです。
5. 各競技団体が「ふるさと」登録をする際には、県スポーツ協会の大会参加申込み締切期日までに、「**日本スポーツ協会国民体育大会参加申込システム**」上での申込及び**所定の様式**にて宮城県スポーツ協会宛に提出願います。

「ふるさと選手」制度の登録手続き方法について

1. 「日本スポーツ協会国民体育大会参加申込システム」上での申込及び申込書提出
 - ① 各競技申込担当者が、インターネット上の「日本スポーツ協会国民体育大会参加申込システム」にて、「ふるさと申込書」の入力を行う。
※注意 システム上にて、「競技参加申込書」の入力より前に「ふるさと申込書」の入力を行って下さい。「競技参加申込書」に反映されなくなります。
 - ② 入力後、「申込チェック」及び「確定」ボタンを押す。
 - ・「確定」と同時に、県ス協事務局に確定の通知メールが届きます。
 - ③ 「ふるさと申込書」を印刷し、県ス協へ提出願います。
2. 「ふるさと登録届」様式1・様式2の提出
 - ① 「様式1」は、参加者本人直筆、押印の上、申込人数分提出願います。
 - ② 「様式2」は、各競技団体で作成、公印の上、提出願います。

以上の提出書類を、各競技団体との申込手続き日に、御持参下さい。

[様式 1]

ふるさと登録届

公益財団法人宮城県スポーツ協会 会長 殿

宮城県 協会・連盟 会長 殿

届出日:令和 年 月 日

(ふりがな)
氏 名
[性別] 1. 男 2. 女 *いずれかに○印を付けること。
[生年月日] 年 月 日

国民体育大会ふるさと選手制度により、私の「ふるさと」を【 宮 城 県 】として、次の通りお届けします。

1. 参加競技名(種別及び種目名を含む)

競技	種別	種目
----	----	----

2. 現住所

(ふりがな) 〒 -	電話番号
---------------	------

3. 連絡先

(ふりがな) 〒 -	電話番号
	携帯電話番号

4. 「ふるさと」に関する確認事項

(1) ふるさと登録の利用

利用回数
1. 初回
2. 2回目

* 1. 又は 2. のいずれかに○印

(2) 前回大会出場の所属都道府県名

回	都道府県
---	------

* 前回大会(予選会を含む)に出場の所属都道府県名を記載

(3) 卒業した学校名

(ふりがな)	卒業年月日
	年 月 卒業

* ○○高校又は○○中学校など学校名を明確に記載すること。

(4) 卒業した学校の所在地

(ふりがな) 〒 -	電話番号
---------------	------

* 都道府県名から記載すること。

公益財団法人 宮城県スポーツ協会 会長 殿

競技団体名

会 長 名

ふるさと登録による出場選手一覧

特別国民体育大会出場選手のうち、ふるさと登録による出場選手について、下記のとおり報告します。

No.	(ふりがな) 氏名	生年月日 (西暦で記載する)	性別	出場競技内容			現住所が属する 都道府県	前回大会出場		所属都道府県
				競技名	種別名	種目名		回	都道府県名	
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										

第77回国民体育大会(栃木県)における参加資格確認書

【成年種別選手用】

「第77回国民体育大会(栃木県)実施要項総則」及び「第77回国民体育大会参加資格、年齢基準等の解釈・説明」資料の内容に照らし合わせ、下記項目に基づいて第77回国民体育大会(栃木県)における成年種別年齢域の選手としての参加資格要件を満たしていることを確認し、参加資格が適切であることを

第77回大会参加
所属都道府県:

競技名:

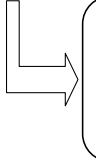
記入日: 年 月 日

氏名:

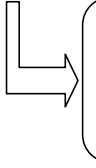
参考資料: 77回大会用【成年種別】
特別国体用が届き次第差し替え

i. 過去大会(都道府県予選会を含む)の出場履歴(※該当するものに丸をつけるとともに記入する)

(1) 第75回大会〔冬季大会: 青森県、富山県〕 ※本大会: 鹿児島県 (中止)

出場	不出場
	都・道 より 府・県 1. 居住地を示す現住所 2. 勤務地 3. ふるさと 4. 学校所在地(選手・少年) 5. JOCエリートアカデミー(選手・少年) を選択して出場

(2) 第76回大会〔冬季大会: 愛知県、岐阜県〕 ※冬季大会: 秋田県 (中止) 本大会: 三重県 (中止)

出場	不出場
	都・道 より 府・県 1. 居住地を示す現住所 2. 勤務地 3. ふるさと 4. 学校所在地(選手・少年) 5. JOCエリートアカデミー(選手・少年) を選択して出場

ii. 参加資格

以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	日本国籍を有している、あるいは「永住者」(特別永住者を含む)である。  ※「いいえ」の場合	はい ・ いいえ
	日本国籍を有しないが、次頁「日本国籍を有しない者の参加資格」の要件を満たしている。(※「日本国籍を有しない者の参加資格」についても回答すること)	はい ・ いいえ
(2)	都道府県予選会及びブロック大会を含め、過去2大会(第75回・第76回)のうち、直前に出場した大会において、今回と異なる都道府県から参加していない。  ※「いいえ」の場合 a~dのいずれかに該当していること	はい ・ いいえ
	a. 以下のいずれかに該当する。 1) 第76回大会参加者: 2021年度に「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した。 2) 第75回大会参加、第76回大会不参加者: 2020~2021年度に「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した。	a. 新卒業者
	b. 以下のいずれかに該当する。 1) 第76回大会参加者: 2021年5月1日以降、2022年4月30日までに、法的手続きを含め、結婚又は離婚をした。 2) 第75回大会参加、第76回大会不参加者: 2020年5月1日以降、2022年4月30日までに、法的手続きを含め、結婚又は離婚をした。	b. 結婚・離婚
	c. 「国民体育大会ふるさと選手制度」を活用する、または解除する。	c. ふるさと
	d. 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	d. 震災特例
(3)	都道府県予選会及びブロック大会を含め、第77回大会本大会において、複数競技に参加を申込んでいない。	はい ・ いいえ
(4)	第77回大会冬季大会に参加していない。または、第77回大会冬季大会に参加した際、今回と同一の都道府県から参加した。	はい ・ いいえ
(5)	健康診断を受け、健康であることが証明されている。	はい ・ いいえ
(6)	第77回大会本大会の予選会(都道府県予選会やブロック大会)に参加する、又は参加した。 (※「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」対象者及び予選会免除対象大会出場者については、この限りでない)	はい ・ いいえ
(7)	ドーピング検査を受けることに同意する(18歳未満の場合、親権者の同意を含む)。	はい ・ いいえ
(8)	2022年4月1日現在、18歳以上である。(※2004年4月1日以前生まれ)	はい ・ いいえ

(2枚目へ続く)

第77回国民体育大会(栃木県)における参加資格確認書

【成年種別選手用】

【日本国籍を有しない者の参加資格】

上記 ii. 参加資格(1)で「いいえ」の場合は、以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	継続的に日本に滞在している。 (※「継続的に日本に滞在」と認定するに要する期間は、2022年4月30日以前から2022年10月11日までとする)	はい ・ いいえ
(2)	次の要件をいずれも満たしている。 a. 2022年以前に、以下の要件のいずれも満たしていた。 ・ 少年種別年齢域に該当していた際、「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、1年以上在籍していた。 ・ 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」または「家族滞在」(中学3年生)に該当していた。 b. 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時において「留学」(大学に在学している、専修学校(専門学校)に在籍している)に該当しない。 ※大学等に在籍する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格の「留学」と同等に扱う	はい ・ いいえ

iii. 所属都道府県

以下のいずれかの区分から参加を申込む。(※該当するものに丸をつける)

【 1. 居住地を示す現住所 2. 勤務地 3. ふるさと 】

※上記で選択した区分の該当要件を回答すること。

【1. 居住地を示す現住所】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2022年4月30日以前(新型コロナウイルス感染症特例対象者は都道府県予選会の参加申込時以前)から2022年10月11日まで引き続き、当該都道府県において住所に関する届け出を行っており、なおかつ、上記期間の総日数の半数を超えて当該都道府県で生活している実態がある。 (『「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準』に則っている)	はい ・ いいえ
	※「いいえ」の場合 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ

【2. 勤務地】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2022年4月30日以前(新型コロナウイルス感染症特例対象者は都道府県予選会の参加申込時以前)から2022年10月11日まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、なおかつ、上記期間のうち、1週当たり労働義務がない2日および国民の祝日を除き、残った日数の半数を超えて当該都道府県に存する事業所等に現実に通勤し、勤務している。 (『「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準』に則っている)	はい ・ いいえ
	※「いいえ」の場合 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ

【3. ふるさと】

以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	当該都道府県を「国民体育大会ふるさと選手制度」に基づく「ふるさと」として、都道府県予選会の参加申込締切日までに登録している。	はい ・ いいえ
	※過去大会参加時に登録済の場合 一度登録した「ふるさと」と異なる都道府県を選択していない。	はい ・ いいえ
(2)	卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県を選択している。 (※JOCエリートアカデミーを修了、または同アカデミーに在籍している場合は卒業小学校所在地。「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する場合は、被災時に在籍していた学校の所在地も含む。)	はい ・ いいえ
	※学校名を明記 学校名 [] 高等学校 ・ 中学校 ・ 小学校	
(3)	「ふるさと」の活用回数が2回以下である。 (※活用は原則として1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回まで。回数のおえ方については、『第77回国民体育大会「実施要項総則第5項(2)所属都道府県」選択における事例』p.6 [https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kokutai/doc/77_shikaku%E2%91%A1-2.pdf]を参照すること)	はい ・ いいえ
	※過去大会において「ふるさと」を活用したことがある場合 「ふるさと」を活用して出場した大会(都道府県予選会を含む)は以下のとおりである。 (※該当する大会に丸をつける) 【 62 ・ 63 ・ 64 ・ 65 ・ 66 ・ 67 ・ 68 ・ 69 ・ 70 ・ 71 ・ 72 ・ 73 ・ 74 ・ 75 ・ 76 】	

第77回国民体育大会(栃木県)における参加資格確認書

【少年種別選手用】

「第77回国民体育大会(栃木県)実施要項総則」及び「第77回国民体育大会参加資格、年齢基準等の解釈・説明」資料の内容に照らし合わせ、下記項目に基づいて第77回国民体育大会(栃木県)における少年種別年齢域の選手としての参加資格要件を満たしていることを確認し、参加資格が適切であることをご報告します。

第77回大会参加

所属都道府県:

競技名:

記入日: 年 月 日

参考資料: 77回大会用【少年種別】
特別国体用が届き次第差し替え

i. 過去大会(都道府県予選会を含む)の出場履歴(※該当するものに丸をつけるとともに記入する)

(1) 第75回大会〔冬季大会: 青森県、富山県〕 ※本大会: 鹿児島県(中止)

出場 ・ 不出場


{
}
 都 ・ 道
府 ・ 県
 より
 {
 1. 居住地を示す現住所
2. 学校所在地
3. 勤務地
4. JOCエリートアカデミー
 }
 を選択して出場

(2) 第76回大会〔冬季大会: 愛知県、岐阜県〕 ※冬季大会: 秋田県(中止) 本大会: 三重県(中止)

出場 ・ 不出場


{
}
 都 ・ 道
府 ・ 県
 より
 {
 1. 居住地を示す現住所
2. 学校所在地
3. 勤務地
4. JOCエリートアカデミー
 }
 を選択して出場

ii. 参加資格

以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	 ※「いいえ」の場合 日本国籍を有している、あるいは「永住者」(特別永住者を含む)である。 日本国籍を有しないが、次頁「日本国籍を有しない者の参加資格」の要件を満たしている。(※「日本国籍を有しない者の参加資格」についても回答すること)	はい ・ いいえ
(2)	 ※「いいえ」の場合 a~eのいずれかに該当していること 都道府県予選会及びブロック大会を含め、過去2大会(第75回・第76回)のうち、直前に出場した大会において、今回と異なる都道府県から参加していない。 a. 以下のいずれかに該当する。 1) 第76回大会参加者: 2021年度に「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した。 2) 第75回大会参加、第76回大会不参加者: 2020~2021年度に「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した。 b. 以下のいずれかに該当する。 1) 第76回大会参加者: 2021年5月1日以降、2022年4月30日までに、法的手続きを含め、結婚又は離婚をした。 2) 第75回大会参加、第76回大会不参加者: 2020年5月1日以降、2022年4月30日までに、法的手続きを含め、結婚又は離婚をした。 c. 以下のいずれかに該当する。 1) 第76回大会参加者: 第76回大会終了時から第77回大会都道府県予選会までにやむを得ない理由により、一家転住した。 2) 第75回大会参加、第76回大会不参加者: 第75回大会終了時から第77回大会都道府県予選会までにやむを得ない理由により、一家転住した。 d. JOCエリートアカデミーに在籍している。 e. 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ a. 新卒業者 b. 結婚・離婚 c. 一家転住 d. JOCアカデミー e. 震災特例
(3)	都道府県予選会及びブロック大会を含め、第77回大会本大会において、複数競技に参加を申込んでいない。	はい ・ いいえ
(4)	第77回大会冬季大会に参加していない、または、第77回大会冬季大会に参加した際、今回と同一の都道府県から参加した。	はい ・ いいえ
(5)	健康診断を受け、健康であることが証明されている。	はい ・ いいえ
(6)	第77回大会本大会の予選会(都道府県予選会やブロック大会)に参加する、又は参加した。(※「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」対象者及び予選会免除対象大会出場者については、この限りでない)	はい ・ いいえ
(7)	ドーピング検査を受けることに同意する(親権者の同意を含む)。	はい ・ いいえ
(8)	 ※「いいえ」の場合 2022年4月1日現在、15歳以上18歳未満である。 (※2004年4月2日以降(サッカー競技およびバスケットボール競技少年種別は2005年1月1日)から2006年4月1日以前生まれ) 2007年4月2日以降から2008年4月1日以前に生まれた中学3年生で、以下の競技(種目)のいずれかに出場する。 陸上競技、水泳(競泳、飛込、水球(女子)、アーティスティックスイミング、オープンウォータースイミング)、サッカー、テニス、体操(競技、新体操、トランポリン)、バスケットボール、レスリング※、セーリング、ソフトテニス、卓球、馬術、フェンシング、バドミントン、ライフル射撃(ビーム・ライフル、ビーム・ピストル)、スノーバード、スキー、アーチェリー、ボウリング、ゴルフ ※2008年1月1日から2008年4月1日までの間に生まれた者を除く。	はい ・ いいえ

(2枚目へ続く)

第77回国民体育大会(栃木県)における参加資格確認書

【少年種別選手用】

【日本国籍を有しない者の参加資格】

上記 ii. 参加資格(1)で「いいえ」の場合は、以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	継続的に日本に滞在している。 (※「継続的に日本に滞在」と認定するに要する期間は、2022年4月30日以前から2022年10月11日までとする)	はい ・ いいえ
(2)	次の要件をいずれも満たしている。	はい ・ いいえ
	a. 「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、大会実施要項が定める参加申込時に1年以上在籍している。	
	b. 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」または「家族滞在」(中学3年生)に該当している。	

iii. 所属都道府県

以下のいずれかの区分から参加を申込む。(※該当するものに丸をつける)

- 【1. 居住地を示す現住所 2. 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地 3. 勤務地 4. 選手の参加資格の特例措置に定める小学校の所在地 「JOCエリートアカデミーに係る」】

※上記で選択した区分の該当要件を回答すること。

【1. 居住地を示す現住所】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2022年4月30日以前(新型コロナウイルス感染症特例対象者は都道府県予選会の参加申込時以前)から2022年10月11日まで引き続き、当該都道府県において住所に関する届け出を行っており、なおかつ、上記期間の総日数の半数を超えて当該都道府県で生活している実態がある。 (『「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準」に則っている)	はい ・ いいえ
	※「いいえ」の場合 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ

【2. 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2022年4月30日以前(新型コロナウイルス感染症特例対象者は都道府県予選会の申込締切時以前)から2022年10月11日まで引き続き通学している学校の所在地である。	はい ・ いいえ
	※「いいえ」の場合 「『一家転住等』に伴う特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
(2)	以下のいずれにも該当していない。 a. 休学中の者 b. 通信による教育を行う課程に学んでいる者 c. 高等学校の専攻科、別科に学んでいる者	はい ・ いいえ

【3. 勤務地】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2022年4月30日以前(新型コロナウイルス感染症特例対象者は都道府県予選会の参加申込時以前)から2022年10月11日まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、なおかつ、上記期間のうち、1週当たり労働義務がない2日および国民の祝日を除き、残った日数の半数を超えて当該都道府県に存する事業所等に現実に通勤し、勤務している。 (『「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準」に則っている)	はい ・ いいえ
	※「いいえ」の場合 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ
	「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ

【4. 「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地】

以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	都道府県予選会参加時から当該競技会終了日まで引き続き、JOCエリートアカデミーに在籍している。	はい ・ いいえ
(2)	卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択している。 JOCエリートアカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択している。	はい ・ いいえ
	※学校名を明記 学校名 小学校	
(3)	JOCエリートアカデミー在籍時に、第76回大会以前の国体に参加したことがあり、その大会参加時に選択した所属都道府県と今回の都道府県は変更していない。	はい ・ いいえ

第77回国民体育大会(栃木県)における参加資格確認書

【監督用】

「第77回国民体育大会(栃木県)実施要項総則」及び「第77回国民体育大会参加資格、年齢基準等の解釈・説明」資料の内容に照らし合わせ、下記項目に基づいて第77回国民体育大会への参加資格が適切であることをご報告します。

参考資料:77回大会用【監督用】 特別国体用が届き次第差し替え

第77回大会参加
所属都道府県:

競技名:

種目名:

記入日: 年 月 日

氏名:

i. 過去大会(都道府県予選会を含む)の出場履歴(※該当するものに丸をつけるとともに記入する)

(1) 第75回大会 [冬季大会: 青森県、富山県] ※本大会: 鹿児島県 (中止)

出場	・	不出場

(2) 第76回大会 [冬季大会: 愛知県、岐阜県] ※冬季大会: 秋田県 (中止) 本大会: 三重県 (中止)

出場	・	不出場

ii. 参加資格

以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	日本国籍を有している、あるいは「永住者」(特別永住者を含む)である。 ※「いいえ」の場合	はい ・ いいえ
(2)	都道府県予選会及びブロック大会を含め、過去2大会(第75回・第76回)のうち、直前に出場した大会において、今回と異なる都道府県から参加していない。 ※「いいえ」の場合 a~cのいずれかに該当していること	はい ・ いいえ
	a. 以下のいずれかに該当する。 1) 第76回大会参加者: 2021年度に「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した。 2) 第75回大会参加、第76回大会不参加者: 2020~2021年度に「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した。	a. 新卒業者
	b. 以下のいずれかに該当する。 1) 第76回大会参加者: 2021年5月1日以降、2022年4月30日までに、法的手続きを含め、結婚又は離婚をした。 2) 第75回大会参加、第76回大会不参加者: 2020年5月1日以降、2022年4月30日までに、法的手続きを含め、結婚又は離婚をした。	b. 結婚・離婚
	c. 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	c. 震災特例
(3)	第77回大会本大会において、複数競技・種別に参加を申込んでいない。(※選手との兼任も含む。監督が種別共通で配置される場合は除く。)	はい ・ いいえ
(4)	第77回大会冬季大会に参加していない、または、第77回大会冬季大会に参加した際、今回と同一の都道府県から参加した。	はい ・ いいえ
(4)	ドーピング検査を受けることに同意する。(※選手との兼任の場合のみ)	はい ・ いいえ
(5)	2022年4月1日現在、18歳以上である。(※2004年4月1日以前生まれ)	はい ・ いいえ

(2枚目へ続く)

第77回国民体育大会(栃木県)における参加資格確認書

【監督用】

【日本国籍を有しない者の参加資格】

上記 ii. 参加資格(1)で「いいえ」の場合は、以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	継続的に日本に滞在している。 (※「継続的に日本に滞在」と認定するに要する期間は、2022年4月30日以前から2022年10月11日までとする)	はい ・ いいえ
(2)	次の要件をいずれも満たしている。	はい ・ いいえ
	a. 2022年以前に、以下の要件のいずれも満たしていた。 ・ 少年種別年齢域に該当していた際、「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する学生または生徒で、1年以上在籍していた。 ・ 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」または「家族滞在」(中学3年生)に該当していた。	
	b. 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時において「留学」(大学に在学している、専修学校(専門学校)に在籍している)に該当しない。 ※大学等に在籍する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格の「留学」と同等に扱う	

iii. 所属都道府県

以下のいずれかの区分から参加を申込む。(※該当するものに丸をつける)

【 1. 居住地を示す現住所 2. 勤務地 3. ふるさと(※選手との兼任の場合のみ) 】

※上記で選択した区分の該当要件を回答すること。

【1. 居住地を示す現住所】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2022年4月30日以前(新型コロナウイルス感染症特例対象者は都道府県予選会の参加申込時以前)から2022年10月11日まで引き続き、当該都道府県において住所に関する届け出を行っており、なおかつ、上記期間の総日数の半数を超えて当該都道府県で生活している実態がある。 (『「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準』に則っている)	はい ・ いいえ
	※「いいえ」の場合 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ

【2. 勤務地】

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2022年4月30日以前(新型コロナウイルス感染症特例対象者は都道府県予選会の参加申込時以前)から2022年10月11日まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、なおかつ、上記期間のうち、1週当たり労働義務がない2日および国民の祝日を除き、残った日数の半数を超えて当該都道府県に存する事業所等に現実に通勤し、勤務している。 (『「日常生活」及び「主たる勤務実態」の判断基準』に則っている)	はい ・ いいえ
	※「いいえ」の場合 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する。	はい ・ いいえ

【3. ふるさと(選手兼任のみ)】

以下の要件をすべて満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	当該都道府県を「国民体育大会ふるさと選手制度」に基づく「ふるさと」として、都道府県予選会の参加申込締切日までに登録している、または、過去大会参加時に登録を済ませている。	はい ・ いいえ
	※過去大会参加時に登録済の場合 一度登録した「ふるさと」と異なる都道府県を選択していない。	はい ・ いいえ
(2)	卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県を選択している。 (※JOCエリートアカデミーを修了、または同アカデミーに在籍している場合は卒業小学校所在地も含む。「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」を活用する場合は、被災時に在籍していた学校の所在地も含む。)	はい ・ いいえ
	※学校名を明記 学校名 高等学校 ・ 中学校 ・ 小学校	
(3)	「ふるさと」の活用回数が2回以下である。 (※活用は原則として1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回まで。回数の数え方については、『第77回国民体育大会「実施要項総則第5項(2)所属都道府県」選択における事例』p.6 [https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/data/kokutai/doc/77_shikaku%E2%91%A1-2.pdf]を参照すること)	はい ・ いいえ
	※過去大会において「ふるさと」を活用したことがある場合 「ふるさと」を活用して出場した大会(都道府県予選会を含む)は以下のとおりである。 (※該当する大会に丸をつける) 【62 ・ 63 ・ 64 ・ 65 ・ 66 ・ 67 ・ 68 ・ 69 ・ 70 ・ 71 ・ 72 ・ 73 ・ 74 ・ 75 ・ 76】	

iv. 公認スポーツ指導者資格

以下の要件を満たしていること。(※回答欄の該当するものに丸をつける)

項目	確認内容	回答
(1)	2022年4月1日時点で日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を保有しており、かつ有効期限が2023年3月31日以降である。	はい ・ いいえ

がんばろう!宮城

～スポーツの力で笑顔と元気に～

公益財団法人 宮城県スポーツ協会